

## Potree 操作方法について



左ドラッグ  
視点回転



右ドラッグ  
視点スライド



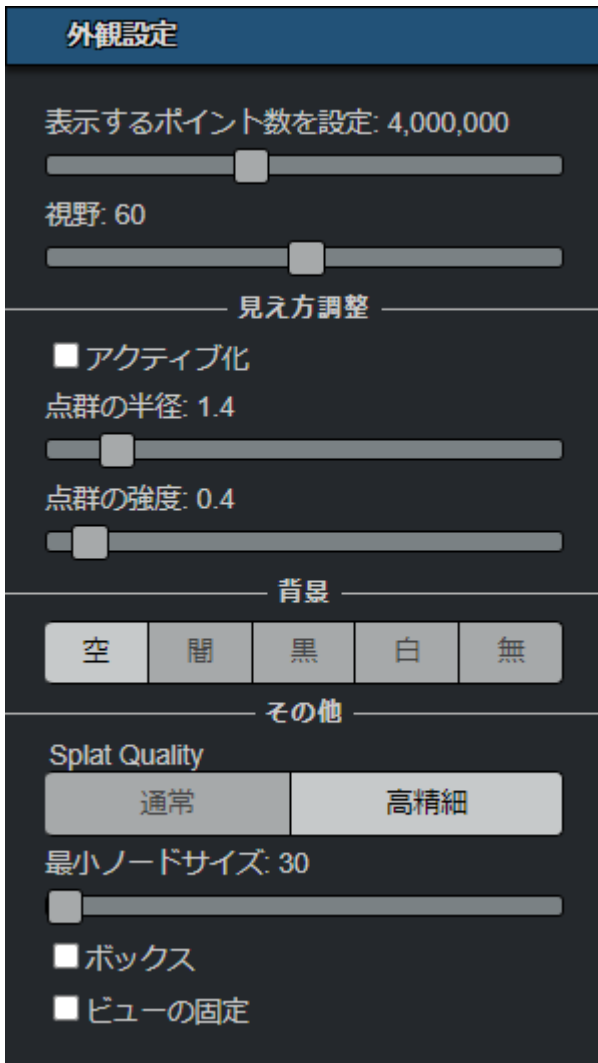
ホイールスクロール  
拡大・縮小



ダブルクリック  
ターゲットへ移動  
**(重要)**

**CHECK  
POINT**

見たい箇所へ**ダブルクリックで近づき、視点回転・視点スライド・ホイールスクロールで調整**するのが基本的な使い方です。



### ■表示するポイント数を設定

点群表示数を変更できます。表示数が多い程、PCのスペックにより表示が重くなる可能性があります。

### ■アクティブ化

チェックを入れると点に境界（黒）がつきます。形状をハッキリ捉えたい時に使用します。

### ■背景

背景を変更できます。

### ■通常／高精細

通常：点を四角形表示とします。

高精細：点を円表示とします。表示に締めりが出て視認性が向上します。

### ■最小ノードサイズ

点群の表示サイズです。

### ■ビューの固定

点群の表示状態を固定します。通常は画面に表示されている点を鮮明にし、範囲外は劣化した状態で軽量化を図っています。本項目にチェックを入れると、視点を変えても鮮明/劣化状態を更新せずに確認できます。



3 点以上を指定し角度を算出します。



選択した点の座標を確認できます。



2 点以上を指定し距離を算出します。



2 点以上を指定し高さを算出します。



3 点以上を指定し面積を算出します。



選択すると立方体が表示され、立方体内の体積が表示されます。表示された補助ツールを用い拡大・縮小等で立方体を調整します。



2 点以上を指定し断面図を作成します。指定後、サイドメニューの『オブジェクト』タブ内にある『show 2d profile』を選択すると断面専用ウィンドウが表示されます。



測定結果を全て削除します。



選択すると立方体が表示され、クリッピング領域を指定できます。



3 点以上を指定し、クリッピング領域を指定できます。



Orthographic モードのみで使用可能。クリッピング領域を長方形で指定できます。



クリッピング領域を全て削除します。

### ■非表示

クリッピングを適用しません。

### ■範囲表示

クリッピングを適用しませんが、クリッピング範囲を色付けします。

### ■内切抜

クリッピングを適用します。クリッピング範囲内のみの点群を表示します。

### ■外切抜

クリッピングを適用します。クリッピング範囲内の点群を非表示します。

### ■Inside Any / Inside All

クリッピング領域を複数指定した場合、選択範囲が重なった箇所の処理方法を指定する。

Inside Any：重なった箇所も含め全てクリッピング。 Inside All：重なった箇所のみをクリッピング。

## ■動作設定

動作設定を変更すると、画面操作方法が大きく変わります。



点群上にマウスカーソルがある場合、マウスカーソル位置を中心にして拡大・縮小を行います。マウスカーソルが点群上にない場合、ドラッグ・スクロールも反応しません。また、左ドラッグで視点スライド、右ドラッグで視点回転となります。



マウスとキーボードを併用しての操作となります。方向に前進『W』『↑』、後退『S』『↓』、左『A』『←』、右『D』『→』、上昇『R』『PageUp』、下降『F』『PageDown』、左ドラッグ：視点変更、右ドラッグ：視点スライド、ホイールスクロール：動く速度変更。前進・後進時に、向いている方向へ高さを変えて移動します。



マウスとキーボードを併用しての操作となります。前進『W』『↑』、後退『S』『↓』、左『A』『←』、右『D』『→』、上昇『R』『PageUp』、下降『F』『PageDown』、左ドラッグ：視点変更、右ドラッグ：視点スライド、ホイールスクロール：動く速度変更。前進・後進時に、向いている方向へ高さを変えずに移動します。



デフォルトの設定です。



動作設定を変えずに点群を全体表示します。



画面右上に視点コントロールボックスを配置します。

## ■Camera Projection

Perspective：遠近法表示にします。画面中央を中心とし、中央から離れる程斜めに倒れたように映ります。デフォルトではこの状態で表示されています。

Orthographic：オルソ表示にします。遠近法の歪みを正射投影で除いた表示です。この表示モードでは、高精度表示が使用できません。

## ■動く速度

ズームをする際の移動速度を変更できます。デフォルトの動作設定では、カメラターゲットに近い程遅く、遠い程早く自動で変更されます。スライダーを用いての変更はできません。



### ■オブジェクト

オブジェクト内では表示されている点群の情報や計測で使  
 したデータを確認できます。

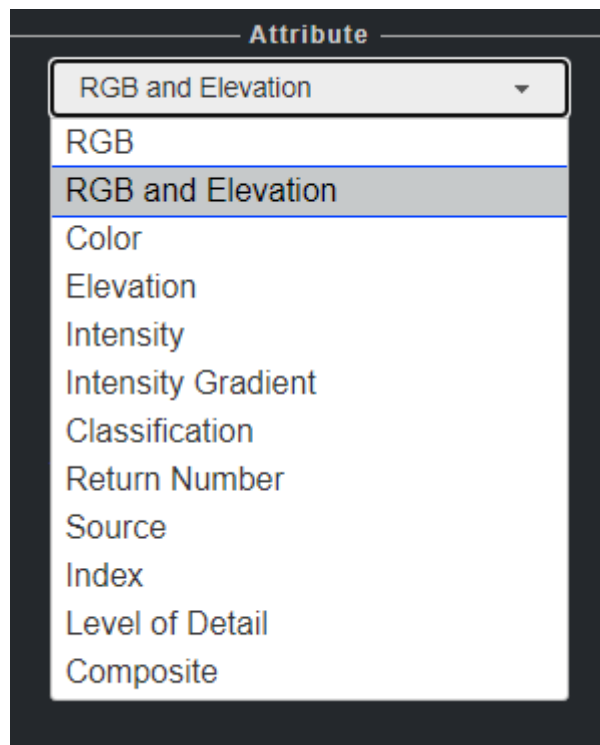
また、選択状態にあるオブジェクトのプロパティがタブ内の下  
 部に表示され、一部のオブジェクトでは表示に関する設定など  
 も行うことが可能です。

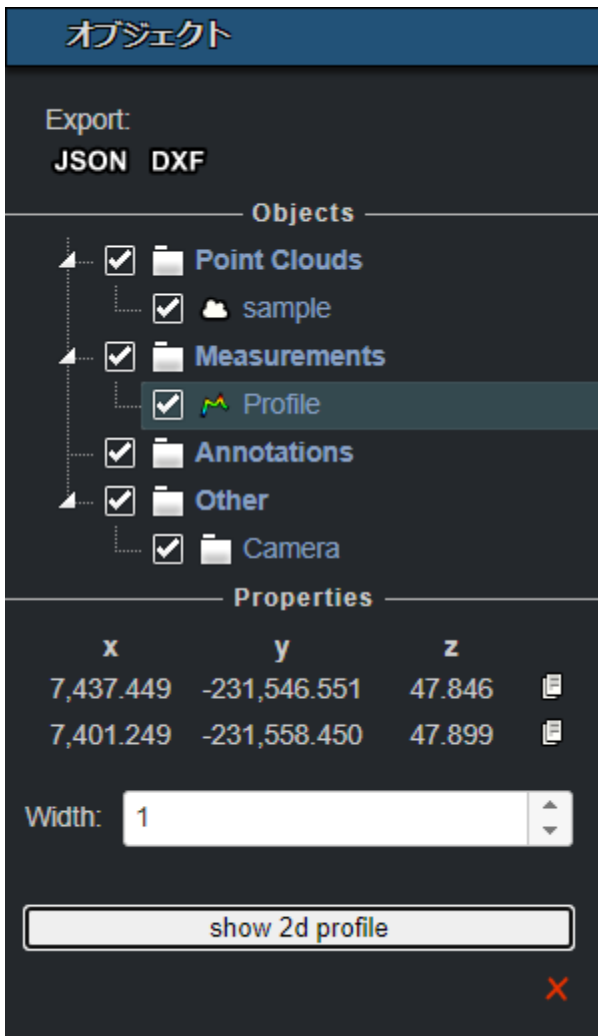


### ■点群選択時のプロパティ

点のサイズ変更や、表示方法（四角形・円形）の変更や明るさ  
 の調整等も可能です。

また、通常は RGB 表示ですが、標高に応じた着色など複数の  
 設定項目からお選びいただけます。





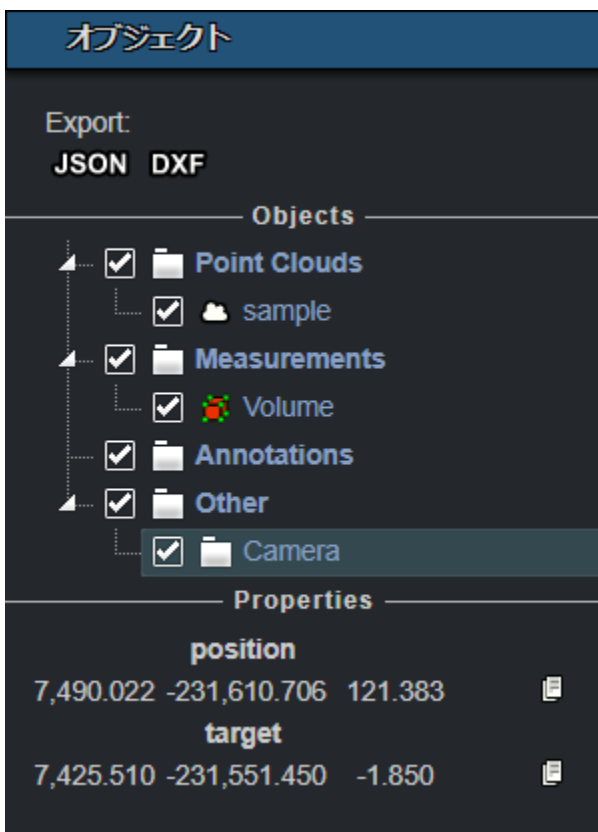
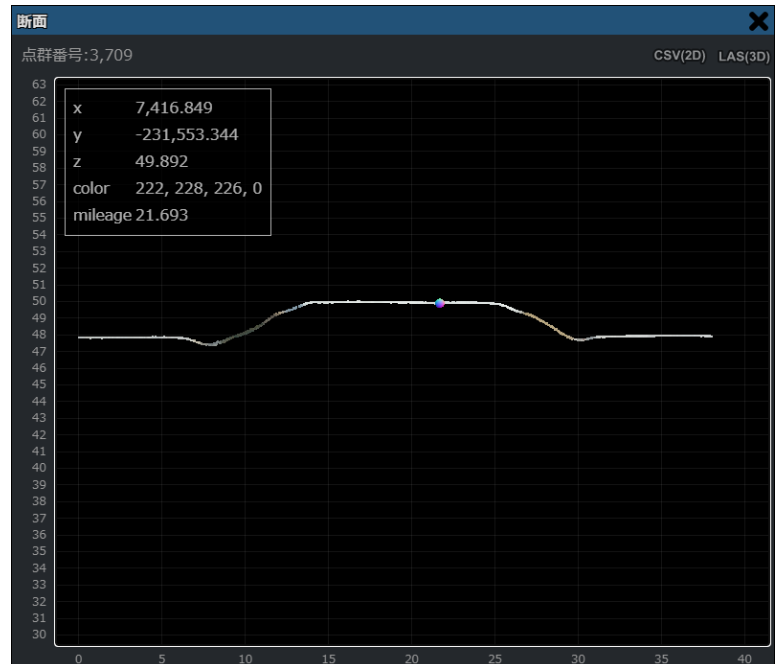
### ■断面選択時のプロパティ

断面を選択した状態で表示されるプロパティは以下の通りです。

座標：XYZ（断面を切り出す為に指定した座標値）

Width：断面の太さ（単位は m）

Show 2d profile：クリックにより断面ウィンドウが表示



### ■カメラ選択時のプロパティ

現在のカメラ位置と、カメラターゲット位置の座標が分かります。ダブルクリックした点の位置へカメラターゲットが移動する為、target に記載されている座標からおおよその座標が簡単に把握できます。

なお、表示される座標は「数学座標系」になります。

「測量座標系」として値を活用する場合には X と Y を入れ替えてご確認ください。